

ベッネル VÄNNER(仲間)

R2年9月 20-9号 スウェーデンヒルズ町内会

(1) スウェーデンヒルズ・ウエスト地区建築協定運営委員会からのお願い

ウエスト地区内で建築済みのお宅で、法面等を含め空地部分の土が剥き出しの状態や、雑草が伸び放題の状態により、街並みとしての環境維持に支障を来しているケースが数件見受けられます。

建築協定第7条(敷地)の(1)にも、「敷地内の空地は芝生、草花、樹木等で緑化するものとし、この良好な管理を行わなければならない。」と規定されておりますので、ご理解の上、適切な緑化及びその維持管理へのご協力をお願い致します。

(2) ヒルズのサークル紹介～【歌声サロン♪】

防災センターの開設を待ちかねる様に第1回歌声サロンを始めてから3年数か月となり、開催回数は15回を数えています。「カラオケもいいけれどやっぱり生楽器の伴奏で唄ってみたい」という『歌好き』の方々の為に、『一緒に唄う楽しみ』の場づくりをしています。歌集も用意していますが参加者の唄いたい曲(ジャンル不問)も取り込みます。

毎回20人ほどの方が集まり、楽しく開催しています。この3月からコロナ自粛で開催を延期しておりますが、情勢を注視しつつ準備を怠らず、万全の安全対策で再開できる日を待ち望んでおります。不定期開催ですが日時が決まればベッネル等でご案内しております。新規参加大歓迎です。ご興味のある方は、北山(V) ☎26-2267 迄ご連絡下さい。



歌声サロン♪スタッフ

(3) スウェーデンヒルズ親睦ゴルフ会の紹介

スウェーデンヒルズ親睦ゴルフ会は、毎年お盆の時期にスウェーデンヒルズゴルフクラブにてゴルフコンペを開催しています。今年は8月12日にゴルフコンペを開催しました。コロナ禍の影響で参加を見合わせた方が多かったため、12人の参加と例年の半分程度でしたが、初参加の方が3人加わり、親睦の輪が広がりました。

今年のコンペから、幹事は坂東(V2-2-13 携帯:090-9512-5267)が務めています。来年のコンペは8月13日(金)午前9時に開催を予定しています。初心者でコンペ未経験の方も、大歓迎です。また休日、平日にかかわらずゴルフの同伴者を探していますので、お気軽にお声かけください。



《町内会の資源回収にご協力をお願いします》

- ・対象資源物: ◇^{びん}瓶・アルミ缶 ※対象となる瓶は、一升瓶か日本四大メーカーのビール瓶(大・中)のみです!
◇紙類(新聞紙・雑誌・紙パック・ダンボール)
◇古着はコロナウイルスの関係で回収できなくなっています
- ・ルール: 瓶やアルミ缶は箱や袋に入れる。紙類は束ねるか、袋に入れる。
- ・回収場所: **自宅前の歩道・敷地内の道路に近い場所**
- ・回収日: 毎月第4水曜日 9月は23日(水)です



(4) ヒルズ防災の窓 3日間の食糧と水の備蓄を！

今年、全国各地で水害が多かったのはご承知のことと思います。当別町でも1981年8月(昭和56年)、集中豪雨による石狩川他の氾濫(写真)で西当別地区にも浸水被害が発生しています。当時本道に停滞した日本海低気圧は、本町平野部で308ミリ、青山ダムで563ミリ、札幌で294ミリ、岩見沢で406ミリという雨を降らせ、特に石狩川下流の篠津堤防、幌向川をはじめ60ヶ所で堤防が決壊しました。本町では下流の川下、ビトエ、獅子内、当別太の各地区で浸水被害が大きく、一面褐色の湖と化しました。公民館に避難した人は317名、被害の総額は約45億円と当時の広報は伝え、「500年に1回の洪水」とも言われました。地球温暖化が懸念されている状況下、今後当別町でも56年のような豪雨被害に備えていく必要があると思われます。防災センターには、防災備品や備蓄食料の備えがほとんどありません。昨年12月、防災センターで行われた「防災カフェ」でも、町役場防災担当職員の方から、**「1世帯ごと、3日間分の食料・水の備蓄を！」**というお話がありましたので、皆さんも備えをお願いします。



(5) 動物由来の感染症にも注意！(餌付け編)

8月、ヒルズのゴルフ場から管理センターに連絡がありました。それは「キタキツネが食パンや果物を咥えゴルフコースに出没している」というものです。「エキノコックス症」は主にキタキツネ由来の恐ろしい感染症「北海道の風土病」とも言われ、昔私が道東に住んでいた頃、樺太(サハリン)で働いていた父親から、そのおぞましい寄生サイクルや自覚症状等を何度も聞かされていた。また、27年ほど前、エキノコックス症に感染した旭山動物園のゴリラとサルが死亡し、全職員約100名の血清検査が実施され、動物園は一時閉園される事件がありました。



私が2010年ヒルズに移住した時もキタキツネが普通に道路を歩き、敷地の作業中に振り向くと、くつろぐキタキツネがいる。犬を飼ったこともあって、2011年エキノコックス症検査の血液検査を西コミセンで受けました。理由は散歩中の犬が拾い食いをして宿主になり、人間に感染し体内に寄生する恐れがあるからです。キツネは野ネズミ、昆虫、野鳥などが主食で、犬や猫のエサも食べる人が多いといえます。一度人間からパンなどの餌をもらうようになると、次第に体力や免疫が落ち、疥癬(かいせん)という皮膚病になり毛が抜け落ちるといことにもなるそうです。本来、野生動物は自然の中で自然のままの食べ物を食べて生きていますので、生ごみの管理処理も適切にし、犬猫を放し飼いにしない、そしてキツネに触ったり、【餌付けをしない】。

(エキノコックス健診のお問い合わせは“ゆとろ”福祉課保健サービス係 ☎23-2346迄)

—スウェーデンヒルズ防災センターの9月の催しお知らせ—

◇ヒルズサロン(第23回)【ヒルズで聞こえる謎の鳴き声】9月25日(金)14時~16時 紹介者:道川さん(W1)
 会場の人数制限があります。お問合わせ申し込みは9月15日まで 大久保:25-3520 北山:26-2267へ
 ※コロナの情勢に合わせてやむなく中止の可能性あります

[編集 三役会]

町内会事務局 (常駐はしていません) スウェーデンヒルズ E4-2-3 防災センター内

TEL/FAX: 0133-26-3763 E-mail: swedenhills@kind.ocn.ne.jp

町内会ホームページ: <http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/town/swedenhills/>

